

日薬業発第 422 号
令和 8 年 2 月 3 日

都道府県薬剤師会担当役員 殿

日 本 薬 剤 師 会
副会長 荻野 構一

薬剤師のキャリア形成に関する意向調査へのご協力をお願い（周知依頼）

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、薬剤師臨床研修につきましては、令和 6 年 3 月に厚生労働省より、「薬剤師臨床研修ガイドライン」が公表され、令和 6 年度及び令和 7 年度には厚生労働省予算事業として「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業」が実施されています。

本年度の同事業においては、「薬剤師臨床研修のための指導体制・指導薬剤師の育成等に係る調査検討（受託者：日本病院薬剤師会）」「卒後から生涯研修を通じたキャリア形成に係る調査検討（受託者：薬剤師認定制度認証機構）」が行われております。

今般、これらのうち、「卒後から生涯研修を通じたキャリア形成に係る調査検討」において、医療機関や薬局等に勤務する全国の薬剤師を対象に、現役薬剤師のキャリア形成に関する意向を明らかにするため、別添のとおり、調査を実施することとなりました。

つきましては、都道府県薬剤師会におかれましては貴会会員に本調査のご周知をいただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

令和 8 年 1 月 27 日

公益社団法人 日本薬剤師会
会長 岩月 進 殿

令和 7 年度厚生労働省委託事業「薬剤師臨床研修の
効果的な実施のための調査検討事業②卒後から生涯
研修を通じたキャリア形成に係る調査検討」

研究代表者 安原 真人

薬剤師のキャリア形成に関する意向調査へのご協力をお願い

平素より医薬品の適正使用や薬剤師の生涯教育の充実・発展にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

近年のチーム医療の進展や薬物療法の高度化・複雑化等に対応するため、薬剤師免許取得後に医療機関等における臨床研修の充実が求められ、令和 6 年 3 月には厚生労働省から臨床研修ガイドラインが発出されました。しかしながら、薬剤師臨床研修の指導体制や薬剤師の生涯にわたるキャリア形成についてはなお十分な検討がなされておらず、課題となっています。

この度、公益社団法人薬剤師認定制度認証機構は令和 7 年度厚生労働省委託事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業②卒後から生涯研修を通じたキャリア形成に係る調査検討」に採択され、帝京大学薬学部社会薬学研究室と共同で、医療機関や薬局等に勤務する全国の薬剤師を対象に、別添の質問項目についてアンケート調査を実施し、現役薬剤師のキャリア形成に関する意向を明らかにしたいと考えています。

つきましては、貴会所属の薬剤師の皆様へ、令和 8 年 3 月 15 日までに下記の QR コードもしくは URL を用いて web アンケート（別添 2）に回答いただきたく、添付の薬剤師宛協力依頼書（別添 1）をご利用いただき周知方よろしくお願い申し上げます。



<https://forms.office.com/r/ePNJasQVYm>

なお、本アンケート調査は帝京大学医学系研究倫理委員会の承認を得て実施しています。アンケートの集計結果は研究成果として学会・論文等で公表を予定していますが、アンケートは無記名であり、回答された方が特定されることはありません。アンケートに回答するか否かは、薬剤師の皆様の自由意思により決めてください。不快に感じる質問などありましたら回答を途中で中止しても差し支えありません。気分不快等で万が一治療が必要になった場合の医療費は、自己負担となります。アンケート調査への協力の有無は業務とは無関係であり、回答しないことで不利益を生じることはありません。ただし、一旦送信された回答については、匿名であるために後から回収・削除することはできないことをご了解ください。

【問合せ先】 ☎173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学薬学部 安原真人
TEL:03-3964-8173、FAX:03-3964-8178、e-mail: yasuhara@pharm.teikyo-u.ac.jp

薬剤師の皆様へ

別添 1

薬剤師のキャリア形成に関する アンケート調査ご協力をお願い

【研究の背景と目的】近年のチーム医療の進展や薬物療法の高度化・複雑化等に対応するため、薬剤師免許取得後に医療機関等における臨床研修の充実が求められ、令和 6 年 3 月には厚生労働省から臨床研修ガイドラインが発出されました。しかしながら、薬剤師臨床研修の指導体制や薬剤師の生涯にわたるキャリア形成についてはなお十分な検討がなされておらず、課題となっています。

これらの課題に対し、医療機関や薬局等に現在勤務される全国の薬剤師を対象に、薬剤師のキャリア形成や臨床研修制度に関する意向を調査することで、薬剤師が求める将来像やキャリア形成の道筋を明らかにし、薬剤師の生涯研鑽、認定・専門制度やキャリア形成支援制度の設計に活かすことが本研究の目的です。

【方法】アンケート調査は、全国の薬剤師を対象とし、10～20 年後の薬剤師のキャリア展望や卒後臨床研修制度などについて MS Forms を用いて回答いただきます。質問数は、約 20 件で、所要時間は 10 分程度を見込んでいます。下記の QR コードもしくは URL を用いて MS Forms にアクセスして回答をお願いします（回答締切 令和 8 年 3 月 15 日）。



<https://forms.office.com/r/ePNJasQVyM>

本アンケート調査は、帝京大学医学系研究倫理委員会の承認を得た上で、令和 7 年度厚生労働省委託事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業②卒後から生涯研修を通じたキャリア形成」に採択された（公社）薬剤師認定制度認証機構と帝京大学薬学部社会薬学研究室が共同で実施しています。アンケートの集計結果は学会・論文等で公表の予定ですが、アンケートは無記名であり、回答された方が特定されることはありません。アンケートに回答するか否かは、皆様の自由意思により決めてください。不快に感じる質問などありましたら回答を途中で中止しても差し支えありません。気分不快等で万が一治療が必要になった場合の医療費は、自己負担となります。本調査への協力の有無は業務とは無関係であり、回答しないことで不利益を生じることはありません。ただし、一旦送信された回答については、匿名であるために後から回収・削除することはできないことをご了解ください。

令和 7 年度厚生労働省委託事業「薬剤師臨床研修の
効果的な実施のための調査検討事業②卒後から生涯
研修を通じたキャリア形成に係る調査検討」

研究代表者 安原 真人

【問合せ先】〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学薬学部社会薬学研究室
TEL:03-3964-8173、FAX:03-3964-8178、e-mail: yasuhara@pharm.teikyo-u.ac.jp

薬剤師のキャリア形成に関する意向調査

本アンケート調査は、令和7年度厚生労働省委託事業「薬剤師臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業②卒後から生涯研修を通じたキャリア形成」に採択された（公社）薬剤師認定制度認証機構と帝京大学薬学部社会薬学研究室が共同で実施しています。薬剤師のキャリア形成や臨床研修制度に関する意向を調査することで、薬剤師が求める将来像やキャリア形成の道筋を明らかにし、薬剤師の生涯研鑽、認定・専門制度やキャリア形成支援制度の設計に活かすことが本研究の目的です。アンケートの集計結果は学会・論文等で公表の予定ですが、アンケートは無記名であり、回答された方が特定されることはありません。アンケートに回答しても謝礼はありません。回答に通信費が生じる場合は回答者の負担となります。アンケートに回答するか否かは、皆様の自由意思により決めてください。不快に感じる質問などありましたら回答を途中で中止しても差し支えありません。気分不快等で万が一治療が必要になった場合の医療費は、自己負担となります。本調査への協力の有無は業務とは無関係であり、回答しないことで不利益を生じることはありません。ただし、一旦送信された回答については、匿名であるために後から回収・削除することはできないことをご了解ください。アンケートの質問数は、約 20 件で、所要時間は 10 分程度を見込んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

シフ

1. アンケートの趣旨説明を理解し、自らの自由意思によりアンケートに回答することに同意されますか。*

- ☐ 同意する
- ☐ 同意しない

2. 年齢をお答えください。*

- ☐ 30歳未満
- ☐ 30～40歳未満
- ☐ 40～50歳未満
- ☐ 50～60歳未満
- ☐ 60～70歳未満
- ☐ 70歳以上

3. 性別をお答えください（任意回答）

- ☐ 男性
- ☐ 女性

4. 薬剤師免許取得後の年数をお答えください。*

- ☐ 1年未満
- ☐ 1～2年未満
- ☐ 2～5年未満
- ☐ 5～10年未満
- ☐ 10～20年未満
- ☐ 20～30年未満
- ☐ 30～40年未満
- ☐ 40年以上

5. 現在の主たる勤務先をお答えください。*

- ☐ 保険薬局
- ☐ ドラッグストア
- ☐ 病院
- ☐ 診療所
- ☐ 製薬企業
- ☐ 治験（CRO、SMO）
- ☐ 卸売業
- ☐ その他の企業
- ☐ 公務員
- ☐ 大学
- ☐ 大学院生
- ☐ レジデント
- ☐ 無職

6. 勤務する保険薬局について、同一経営主体による店舗数をお答えください。

- ☐ 100店舗以上
- ☐ 10～99店舗
- ☐ 2～9店舗
- ☐ 1店舗

7. 勤務するドラッグストアは調剤併設型ですか。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

8. 現在の雇用形態をお答えください。

- ☐ 開設者（経営者）
- ☐ 役員
- ☐ 正社員
- ☐ 時間給与者
- ☐ その他

9. あなたは管理薬剤師ですか。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

10. 勤務する病院の病床数をお答えください。

- ☐ 20～49床
- ☐ 50～99床
- ☐ 100～199床
- ☐ 200～399床
- ☐ 400床以上

11. 勤務する病院について、該当するものをお答えください。（複数選択可）

- ☐ 一般病院
- ☐ 特定機能病院
- ☐ 地域医療支援病院
- ☐ 臨床研究中核病院
- ☐ 精神科病院
- ☐ 高度急性期病院
- ☐ 急性期病院
- ☐ 回復期病院
- ☐ 慢性期病院

12. 勤務する病院の開設者による分類について、該当するものをお答えください。

- ☐ 国・公立病院
- ☐ 大学病院
- ☐ 公的病院（日本赤十字社、済生会、社会保険関係等）
- ☐ 民間病院

13. 現在の雇用形態をお答えください。

- ☐ 正職員
- ☐ 任期付き職員
- ☐ 契約職員
- ☐ 非常勤職員
- ☐ アルバイト
- ☐ 再雇用

14. 勤務地の所在地（無職の場合は居住地）をお答えください。まず該当する地方を選択してください。

- ☐ 北海道・東北・関東
- ☐ 中部・近畿
- ☐ 中国・四国・九州・沖縄

15. 勤務先のある都道県を選択してください。

- ☐ 北海道
- ☐ 青森県
- ☐ 岩手県
- ☐ 宮城県
- ☐ 秋田県
- ☐ 山形県
- ☐ 福島県
- ☐ 茨城県
- ☐ 栃木県
- ☐ 群馬県
- ☐ 埼玉県
- ☐ 千葉県
- ☐ 東京都
- ☐ 神奈川県

16. 勤務先のある府県をお選びください。

- ☐ 新潟県
- ☐ 富山県
- ☐ 石川県
- ☐ 福井県
- ☐ 山梨県
- ☐ 長野県
- ☐ 岐阜県
- ☐ 静岡県
- ☐ 愛知県
- ☐ 三重県
- ☐ 滋賀県
- ☐ 京都府
- ☐ 大阪府
- ☐ 兵庫県
- ☐ 奈良県
- ☐ 和歌山県

17. 勤務地のある県をお選びください。

- ☐ 鳥取県
- ☐ 島根県
- ☐ 岡山県
- ☐ 広島県
- ☐ 山口県
- ☐ 徳島県
- ☐ 香川県
- ☐ 愛媛県
- ☐ 高知県
- ☐ 福岡県
- ☐ 佐賀県
- ☐ 長崎県
- ☐ 熊本県
- ☐ 大分県
- ☐ 宮崎県
- ☐ 鹿児島県
- ☐ 沖縄県

18. 勤務地の所在地の区市町村名を記入してください。

19. 2025年の年収（手当等を含む総支給金額、副収入を除く）をお答えください。（任意回答）

- ☐ 300万円未満
- ☐ 300万～400万円未満
- ☐ 400万～500万円未満
- ☐ 500万～600万円未満
- ☐ 600万～800万円未満
- ☐ 800万～1000万円未満
- ☐ 1000万～1500万円未満
- ☐ 1500万円以上

20. 10～20年後にあなたが主に携わっていたい業務分野を挙げてください。（複数選択可） *

- ☐ 調剤・服薬指導（対人業務中心）
- ☐ 在宅医療・地域包括ケア
- ☐ 健康サポート・セルフメディケーション支援
- ☐ 病院でのチーム医療・病棟業務
- ☐ 専門・認定薬剤師としての高度専門業務
- ☐ 教育・研究
- ☐ 経営・マネジメント（薬局・病院等）
- ☐ 医薬品開発・治験・薬事
- ☐ 医療DX・データ活用（AI, 電子薬歴等）
- ☐ 行政・政策立案
- ☐ その他

21. 将来、薬剤師として最も重視したい役割はどれですか（1つ選択）。 *

- ☐ 患者の治療効果・安全性の最適化
- ☐ 生活全体（予防・セルフケア含む）の支援
- ☐ 医師等への専門的助言
- ☐ 地域の医療体制への貢献・質の向上
- ☐ 医薬品の適正使用の社会的担保
- ☐ その他

22. 10～20年後に希望する働き方として最も近いものはどれですか。

- ☐ フルタイムで一つの職場に継続勤務
- ☐ 複数の職域・施設を横断して活動
- ☐ 専門性を活かしたプロジェクト型・非常勤中心
- ☐ 教育・研究・実務を組み合わせた働き方
- ☐ その他

23. あなたが目指すキャリアゴールとして、ご自分の考えに近いものはどれですか。（複数選択可）

- ☐ ジェネラリストとして薬物治療を担う
- ☐ 特定分野において高度専門性を発揮する
- ☐ 組織の責任者として管理運営や人材育成に携わる
- ☐ 臨床研究や基礎研究を通して学術の発展に貢献する
- ☐ 薬学生や薬剤師レジデント等の教育や指導に貢献する
- ☐ 地域医療の担い手として住民の健康維持に貢献する
- ☐ その他

24. 将来に向けて、どのような学び・研鑽が最も重要だと考えますか。（複数選択可）

- ☐ 継続的な生涯学習（CPD）
- ☐ 専門・認定資格の取得
- ☐ 多様な臨床経験
- ☐ マネジメント・経営スキル
- ☐ 研究能力・データ分析力
- ☐ 国際的視野・グローバル連携
- ☐ その他

25. 将来の薬剤師像を考える上で、不安に感じていることは何ですか。（複数選択可）

- ☐ 職域・役割の縮小
- ☐ 技術進歩への適応
- ☐ 収入・待遇
- ☐ 職務上の責任と権限の不均衡
- ☐ 専門性の評価・可視化
- ☐ 働き続けられる環境（年齢・家庭との両立）
- ☐ 特に不安はない
- ☐ わからない
- ☐ その他

26. あなたのキャリア形成において想定される障壁はどれですか。（複数選択可）

- ☐ 時間
- ☐ 金銭
- ☐ 家族の理解・支援
- ☐ 職場の理解・支援
- ☐ 指導者
- ☐ 障壁はない
- ☐ その他

27. 薬剤師のキャリア形成に必要な支援制度を挙げてください。（複数選択可）

- ☐ 金銭的援助
- ☐ 休暇取得支援制度
- ☐ 業務負担軽減などの仕組み
- ☐ キャリア形成教育
- ☐ 指導者養成・メンター制度
- ☐ その他

28. 卒後臨床研修制度について、今後の薬剤師の専門性・社会的役割を考えたとき、どの程度そう思うかを
お答えください。

	非常にそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
薬剤師が専門職として社会から信頼され続けるためには、卒後の体系的な臨床研修が不可欠である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
卒後臨床研修では、職場内OJTに任せるのではなく、一定の到達目標や評価基準を備えた標準的な研修体系が必要である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
卒後臨床研修は、任意の自己研修ではなく、将来的には資格・認定やキャリア形成と連動した制度として規程すべきである。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

29. 10～20年後、あなた自身が「こうありたい」と思う薬剤師像を自由に記載してください。

30. 今回のアンケートについて、臨床研修に期待することなど感想やご意見をお寄せください。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。